

《薬局サーベイランスコメント》

『インフルエンザは既に全国的な流行となっているが、12月に入って患者数は更に増加していくと予想される』

薬 局 サ ー ベ イ ラ ン ス

(<http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/kaniyasukei/index.html>)からの2019年第48週(11月25日~12月1日)のインフルエンザの1週間当たりの推定患者数は約193,000となりました。前週の値(第47週;109,000)を大幅に上回っており、また第43週以降6週連続して増加が続いています(図1)。休日明けの第49週の月曜日(12月2日)の1日当たりの推定患者数は約58,000と今シーズンの最多(約43,000)を更新していて、今週も患者数は増加していくものと予想されます。

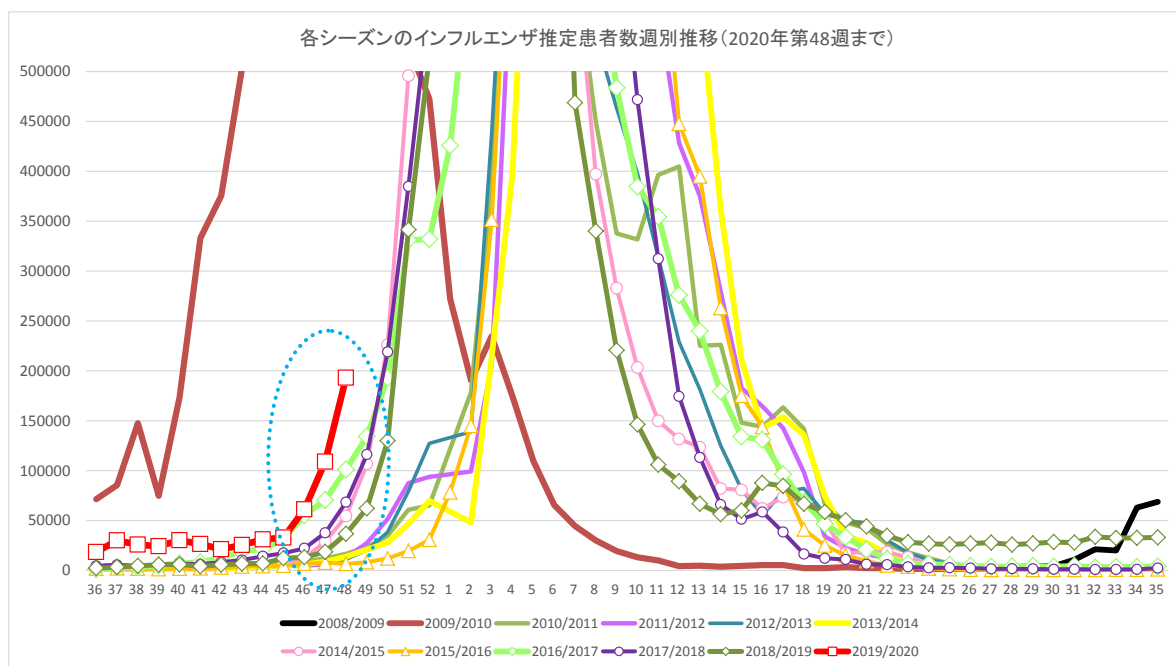


図1. 過去11シーズンと今シーズン(2019/2020年シーズン)の第36~第48週までのインフルエンザ推定患者数の週別推移

2019年第36週から第48週までの累積の推定患者数は約628,000であり、年齢群別では5~9歳(23.0%)、10~14歳(16.0%)、40~49歳(13.7%)、1~4歳(11.7%)の順となっていて、14歳以下の割合が50%を超えています(図2)。

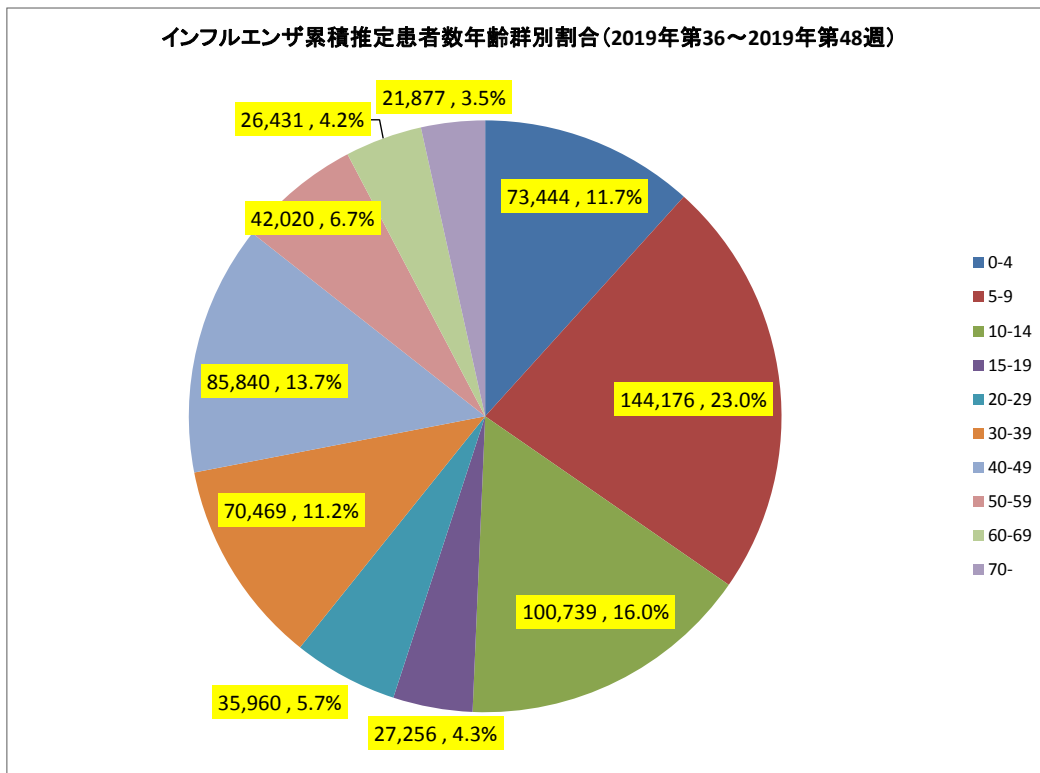


図 2. インフルエンザ累積推定患者数年齢群別割合 (2019 年第 36～2018 年第 47 週、累積推定患者数=約 628,000)

国立感染症研究所感染症疫学センターの病原微生物情報 (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>) によると、今シーズンこれまでのインフルエンザ患者由来検体から検出されたインフルエンザウイルス (522 検体解析) は、A/H1pdm が 89.5% と多く、次いで A/H3 (A 香港) 亜型 5.9%、B 型 4.6% の順となっています。

今シーズンは 11 月中旬より全国的な流行となっていますが、12 月に入って更にインフルエンザの患者数は増加していくことが予想されます。これからのインフルエンザの患者発生状況には充分にご注意ください。

2019 年 12 月 3 日
 済生会中津病院感染管理室
 安井 良則